

【エッセイリレー 2021】結果発表!

昨年9月にスタートした同窓会ホームページ新企画【何人続く? 各期対抗エッセイリレー!!】の第1レース【エッセイリレー 2021】は8月をもって無事終了しました。執筆して下さった1期、11期、21期、31期、41期の合計34名の皆さま、素敵なエッセイをお寄せいただき、本当にありがとうございました。

◆◆◆【エッセイリレー 2021】各期のリレー人数と最終順位◆◆◆

- ◆ 1位 1期 (17名)
- ◆ 2位 11期 (9名)
- ◆ 3位 31期 (4名)
- ◆ 4位 21期 (3名)
- ◆ 5位 41期 (1名)

各期のリレー人数は左の通りで、1位は全執筆者数の半分を占めた【1期】が獲得しました。【1期】は最終月に入ってから3名がリレーするなど最後まで力強い走りで2位以下を圧倒的に引き離し、さすがの貫録を見せつける形となりました。エッセイ内容には1期生しか知らないICUHSの黎明期についての記述も多く、後輩に伝えるべき大切な記憶を綴っていただく機会となったことに役員一同深い感慨を覚えました。また、全期を通じて

ICUHS 生らしい多様性や柔軟性が感じられたことも印象に残りました。最後にもう一度、執筆者の皆さま、ご協力いただき本当にありがとうございました。

エッセイリレー
1期

エッセイリレー
11期

エッセイリレー
21期

エッセイリレー
31期

エッセイリレー
41期

【エッセイリレー 2022】がスタートしました!

エッセイリレー
2022

2・12・22・32・42

同窓会年度初めの9月から【エッセイリレー 2022】がスタートしました。今年度は2期、12期、22期、32期、42期にリレーを行っていただきますので、該当する期の皆さまには是非ともご協力をよろしくお願いいたします。現在のレース状況は、2期が2名、12期が0名、22期が2名、32期が0名、42期が0名となっています。(10月18日現在)

来年の11月25日(土)は5年に一度の総会です!

5年に一度の同窓会総会を兼ねたパーティーを、来年の11月25日(土)に開催する予定です。今回は18年ぶりの母校での開催で、リニューアルされた高校グラウンドの見学タイムも設ける計画です。多くの方々のご参加をお待ちしております。

コロナ禍の状況により、日時および会場の変更、オンライン開催への変更などの可能性があります。詳細につきましては、2023年9月に発送する案内状をご覧ください。同窓会HPでも随時情報を掲載いたします。また、メールアドレス登録者にはメールでも案内が届きますので、是非ご登録ください。

■ 同窓会総会パーティー 2023

- 日時 (予定) : 2023年11月25日(土) 午後3時~5時30分
- 会場 (予定) : ICU 高校食堂 (または ICU の大学食堂)

※コロナ禍の状況により変更の可能性があります。



オンライン・イベントを開催しました!



川村さん(上段中央)と役員の記念写真

2022年3月26日(土)にZoomミーティング形式で《第1回エッセイリレー掘り下げオンライン・イベント》を開催しました。イベントのタイトルは、『**天職** BCP コンサルタントにつながる道 ~エチオピアでの経験から得たリスクマネジメントの心得』。天職についてのエッセイを寄稿してくださった川村(水谷)丹美さん(1期)をゲストにお迎えし、エチオピアでの貴重なご経験やリスクマネジメントのお仕事についてうかがいました。

1時間ほどのお話の中で、日本とは全く異なる当時の危険なエチオピアでの生活で「自分の身は自分で守る」ことを身をもって経験されたことが現在のBCPのお仕事にとっても役立っていること、何回も転職された経験から天職にたどり着くまでの重要なポイント、また防災についての具体的な備え方など、本当にいろいろなことをうかがえて、まさに「掘り下げ」となりました。

初めてのオンライン・イベントでしたが、川村さんが入念にご準備くださったこと、有馬先生やさまざまな世代の会員が参加してくださったことによって、無事成功させることができました。川村さんと参加者の皆さまにはあらためて感謝申し上げます。

ICU高校には貴重な海外経験を持っていながらもそれについて詳しく話したことがない生徒や卒業生がきっとたくさんいるだろうと思われまふ。人によってはあえて話したくない人もいますが、話しても良いと考える方からそのご経験を聞くことのできる機会を今後も持つことができると考えております。

※オンライン・イベントのお知らせはホームページに掲載されますが、メールアドレスを登録した方にはメールでお知らせします。

退職された先生へのインタビュー



鶴松勝利先生に伺いました

Q1 ICU高校での長い間のご経験を一言で表すなら?

A すごく長いようでいて、短かった。
ずっといたかったけれども、老兵は死なず、ただ去りゆくのみを通り、より優秀でエネルギーと新しい発想に溢れる後進に委ねます。最初の頃からいる第一世代の最後の私からすると、良い意味でICUHSは、刷新し続けています。ただ、周りの追い上げも激しいので常に一步先を進んで行って欲しいです。

Q2 一番の思い出について教えてください。

A さすがに42年もいると一つに絞れないのですが、career最後にして、通常の3年生と一緒に「卒業」するのではなく、偶然にも最後の2年間、1年生の担任を続けて務めたことです。元気いっぱい1年生から涙と笑いをもらって楽しい教員生活のフィナーレを飾れました。

Q3 退職後の予定、希望、夢などを教えてください。

A 教員生活のフィナーレを飾れず、まだ違うところで教員をしていますが、専任ではない勤務の中でいかに専任教員の仕事が大変か、と同時にどんなにやり甲斐のあるものかを実感しています。将来の夢は、ジャズバーで、サクスがフルートでバックグラウンドで演奏することです。そうだったら来てください。(笑)

Q4 ICU高校同窓生に向けて、一言お願いします。

A ICUHSで出会った人たちは君たちの中でICUHSスピリットとして生きている。自分を信じて、リスクを正しく恐れてチャレンジして欲しい。クリエイティブに。

シリーズ企画!

ICU高校で教鞭をとる卒業生!

いけばはるか
30期生の池邊遥香先生(外国語科)に伺いました



Q1 ICU高校で教えるようになって何年経ちますか? また、もしよろしければ、母校で教鞭を取ることになった経緯、もしくは理由を教えてください。

A: 非常勤時代を含めると今年で7年目になります。ICU高校で英語を教えようと思ったのは、文学を熱心な生徒=仲間たちと英語で深掘りできる、日本で数少ない職場だったからです。また、帰国生として日本社会をsurviveし、自分や家族が思ってもいなかった苦悩に直面する中で、先輩として後輩たちに伝えたいことがたくさん出てきました。「私が教員になったとして、伝えたいことが何もない」と思い、学部時代には教職課程を一旦辞めましたが、博士課程に進学したのち、研究よりも目の前の生徒に向けて伝え、彼らと一緒に考えることのできる教職を選んだのは間違いではなかったと、じわじわ実感しています。

Q2 ICU高校の教員になって一番驚いたことは何ですか?

A: 数年いなかった間に、生徒も教員も真面目になっていたこと!なんと近年、生徒会メンバーは牛乳一気飲みや一発芸ではなく、ちゃんと真面目に理想の学校について演説してメンバーに選ばれているんですよ……。生徒会の概念に変更があったようで、衝撃でした(笑)。過去のこの学校のクレイジーさを後世に伝え、迫り来る真面目の波の中で遊びを絶やさせないことが、過去を知る私の役目だと勝手に思っています(笑)。

Q3 生徒だったときと教員になってからはICU高校の印象は違いますか? もし違つたとすればどこなところですか?

A: 大人として高校にいと、大人相手の仕事で圧倒的に多いのだな、と感じます。生徒たちの見えないところで、実は大人同士の熱く苦く長い議論が行われていたのです……。それを微塵も感じさせず、毎日元気に明るく

生徒たちに接してくれていた先生方って本当にすごいなと思います。

Q4 高校時代に所属していたクラブは? また、何か印象的な思い出があつたら教えてください。また、現在顧問をしているクラブがあれば教えてください。

A: オーケストラ部とコーラス部出身で、現在はコーラス部の顧問をしています! 30期のコーラス部の友人たちが作詞作曲したコーラス部のテーマソングを代々受け継がせる立場になっているのが感慨深いです。今年度は現役コーラス部に定期演奏会で歌ってもらう予定です。

Q5 今後の抱負をお聞かせください。仕事面でも、プライベートなことでも結構です。

A: 趣味を持ち楽しむことが仕事を続けていく秘訣だと某国語科H先生から聞いたので、この夏、大型バイクの免許を取りました。今年は北海道で乗り回したいです。

Q6 同期生や同窓会会員全体に向けて、メッセージをお願いします。

A: 去年まで3年間担任を務め、コロナが強い国際的な分断の中、2年間海外に住む両親と会えずに高校生活を過ごした生徒たちを支えてきました。国際的なものの代表のようなICUHSは、国際的な分断が起こった時にもいち早く影響を受けます。生徒たちのように、突然の国際的な分断に苦悩した卒業生の皆さんもここ3年、たくさんいらしたと思います。それでも分断と恐怖に負けず、国際性のカオスの中にいたいと思うのは、ICUハイ生の性でしょうか。同じ思いで分断の中、連帯を築いている卒業生の皆さんがたくさんいることを信じています。みんなで頑張りましょうね。

2021年度 活動報告

- ホームページ企画
【何人続く? 各期対抗エッセイリレー!!】を開始 (9月)
- The Fes Day に
「同窓会賞」を贈呈 (10月)
高校で10月8日に行われたThe Fes Dayに賞品「チュッパチャプスホイールディスプレイ200本」を提供しました。
- 高校募金委員会 (11月)
役員2名が委員としてオンライン会議に参加しました。
- NEWS LETTER 発行 (11月)
vol.13 を発行しました。
- 新会員受入れ (3月)
例年通り、同窓会クリアホルダーを42期生の新会員に配布しました。
- 卒業式 (3月)
壇上花と、退職された先生へ花束を贈りました。

- オンライン・イベント開催 (3月)
エッセイリレー掘り下げオンライン・イベントを開催しました (2ページの記事を参照)。
- 入学式 (4月)
例年通り、壇上花を贈りました。
- 個人情報保護方針改訂 (6月)
同窓会の個人情報保護方針を改訂し、ホームページに掲載しました。
- サイトポリシー改訂 (6月)
同窓会ホームページのサイトポリシーを改訂しました。
- 高校募金委員会 (7月)
役員3名が委員としてオンライン会議に参加しました。
- 役員会開催
役員会をオンラインで3回開催したほか、多数のメールのやりとりにより同窓会活動について議論を重ね、必要な作業を行いました。

2022年度 活動予定

- 2022年
 - 9月 HP企画【エッセイリレー2022】開始
体育祭 (賞品提供)
 - 11月 NEWS LETTER 発行
 - 12月 役員会① (オンライン)
- 2023年
 - 3月 新会員受入れ
卒業式 (壇上花提供)
オンライン・ミニイベント開催 (予定)
 - 4月 入学式 (壇上花提供)
 - 5月 役員会②

2021年度 同窓会決算報告 (2021年9月1日～2022年8月31日)

■ 総括				
収入の部 合計	33,513,962			
支出の部 合計	2,022,421			
差額	31,491,541	⇒ 次期繰越金		
■ 収入の部				
科目	予算(a)	実績(b)	差額(a)-(b)	備考
前期繰越金	31,003,463	31,003,463	0	
同窓会入会金	2,510,000	2,510,000	0	42期251名
受取利息	726	389	337	
雑収入	0	110	(110)	
合計	33,514,189	33,513,962	227	
■ 支出の部				
科目	予算(a)	実績(b)	差額(a)-(b)	備考
I 運営費	2,584,400	2,022,421	561,979	
1 通信費	600,000	566,028	33,972	同窓会報等
2 HP運営費	150,000	71,500	78,500	サラト年間保守管理料
3 役員手当	210,000	240,000	△ 30,000	※ 30,000円 X 8名
4 雑費	30,000	14,519	15,481	
5 委員会活動費	150,000	30,330	119,670	役員会等
6 交通費	100,000	1,126	98,874	
7 印刷費	500,000	330,326	169,674	会報印刷等
8 什器・消耗品	40,000	0	40,000	文具代等
9 式典費	20,000	22,825	△ 2,825	壇上花代
10 慶弔費	40,000	3,850	36,150	退職職員への花贈呈
11 高校活動サポート費	10,000	7,517	2,483	体育祭賞品
12 賃借費	22,000	0	22,000	資金庫代
13 高校事務費	100,400	100,400	0	同窓会費徴収事務手数料
14 名簿データベース管理費	132,000	132,000	0	
15 事務統括費	480,000	480,000	0	
II 予備費	30,929,789	31,491,541	△ 561,752	
合計	33,514,189	33,513,962	227	

上記の通り、決算報告致します。
2022年9月13日
国際基督教大学高等学校同窓会 会長 岩崎 直弥 会計 後藤 明子
会計 横島 みのり

上記の決算報告を監査した結果、適正に処理されていることを認めます。
2022年9月14日
国際基督教大学高等学校同窓会 監査 遠藤 香代

2022年度 予算案 (2022年9月1日～2023年8月31日)

■ 総括			
	2022年度 予算案	2021年度実績	
収入の部 合計	33,951,930	33,513,962	
支出の部 合計	33,951,930	33,513,962	
差額	0	0	
■ 収入の部			
科目	予算額	2021年度実績	備考
前期繰越金	31,491,541	31,003,463	
同窓会入会金	2,460,000	2,510,000	43期同窓会費(246人見込)
受取利息	389	389	前年同期
雑収入	0	110	
合計	33,951,930	33,513,962	
■ 支出の部			
科目	予算額	2021年度実績	備考
I 運営費	2,404,400	2,022,421	
11 役員データベース管理	132,000	132,000	
2 ホームページ	100,000	71,500	維持管理料ほか
3 ニュースレター	1,000,000	866,237	
内訳 (紙下作成・印刷費)	150,000	107,628	
(封入・郵送料)	850,000	758,609	
4 高校関連	85,000	46,699	入学式・卒業式壇上花、退職職員花束、新会員配布品、体育祭賞品
5 イベント	50,000	26,500	
6 事務統括費	480,000	480,000	
7 役員手当	210,000	240,000	
8 役員活動費	217,000	31,458	資金庫室、会合費、交通費、zoomなど
9 資金庫代	22,000	22,000	
10 高校事務費	92,400	100,400	高校へ委託している事務作業の手数料
11 雑費	10,000	5,829	
II 予備費	31,547,530	31,491,541	
合計	33,951,930	33,513,962	

上記の通り提案致します。
2022年10月1日
国際基督教大学高等学校同窓会 会長 岩崎 直弥

「▲勘定項目の概要について」
どんな活動を行っているか、各活動や経費にいくらかかっているか、わかりやすくするため、2022年度より、勘定項目を変更しました。

新役員 (任期: 2022年9月～2024年8月)

- 【会長】 岩崎 直弥 (1期)
- 【副会長】 佐野 好則 (2期)、永田 澄江 (2期)
- 【会計】 後藤 明子 (2期)、横島 みのり (4期)
- 【書記】 小澤 伊久美 (7期)
- 【監査】 遠藤 香代 (6期)

同窓会からのお知らせ

●●● 総会が開催されない年の諸事項の承認方法について ●●●

- ◆ 第3ページの内容を承認する場合：連絡の必要はありません。
- ◆ 第3ページの内容を承認しない場合：同窓会ホームページのお問い合わせフォームを利用してメッセージ本文欄に「2021年度の活動および決算報告、2022年度の活動予定および予算案を承認しない」旨を明記して送信するか、郵便（宛先：〒184-8503 東京都小金井市東町1-1-1 国際基督教大学高等学校同窓会）でお送りください（11月30日まで）。

メールアドレスを登録された方へのお知らせ

2022年3月14日までにメールアドレス登録をしたにもかかわらず3月26日のオンライン・イベントのお知らせがメールで届かなかった場合、アドレスの誤入力または同窓会からのメールが受信不可能な設定となっている可能性があります。

お知らせメールが届かなかった方は、お手数ですが、再登録をお願いします。その際、PCからのメール（@salat.co.jp と @icuhs-alumni.org のドメインからのメール）が受信できる設定になっているかを確認してください。

旧教員の皆さまへ メールアドレス登録のお願い

昨年9月から卒業生会員のメールアドレス登録を開始しましたが、このたび旧教員の皆さまも登録できるようになりました。メールアドレスを登録すると、総会および多種多様な小規模ミーティングやイベントのお知らせをメールで受け取れるようになります。

登録を希望する方は、同窓会ホームページの「住所変更・メールアドレス登録」ボタンをクリックし、入力フォームに記入してご送信ください。その際には、「卒期」の項目は「旧教員」を選択し、「メールアドレスを登録する」のほうに忘れずにチェックを入れてください。なお、すでに同窓会にメールアドレスを登録している方（＝今年3月のオンライン・イベントのお知らせをメールで受け取った方）は、今回登録する必要はありません。また、同じフォームで住所変更手続きもできますので、必要に応じてご利用ください。

News Letter の新名称（愛称）募集を 続けます！

Vol.13の『News Letterの新名称募集』へのご応募をありがとうございました。役員会で応募3件について検討しましたが、残念ながら適当と思われるものがなかったため募集を続けます。

申込み方法：同窓会ホームページ（<https://icuhs-alumni.org/>）の「FAQ・申込み・お問い合わせ」メニューにカーソルを合わせると表示される一覧の中から「申込みフォーム」を選んで必要事項を記入し、備考欄に新名称（愛称）を書いてください。

締 切：2023年3月31日

審査および発表方法：役員会議で最もふさわしいと思われるものを決定し、ホームページで発表します。

数学科の本が出版されました！

【松坂文先生（教頭・数学科・12期生）からのコメント】

退職をされた数学科の先生方が中心になって、本校の数学科の入試問題のユニークさを世の中に知ってもらおうと筆を執りました。本著では、この形式を敢えて選択した背景をご紹介します。5年度分の入試問題を解説し、作問意図と背景をご紹介します。

また、元理科（化学）の中山先生にもご参加いただき、皆で座談会をした様子も書き残しました。パズルを解く感覚で読んでください。そして、数学を楽しんでください。

